

Tezukayama
Gakuin
Izumigaoka
Dousoukai

● 青雲

Seiun

泉ヶ丘座談会 インタビュー

恩師から 森先生・阪口先生

輝く人 4人からのメッセージ

同窓会Report

幹事's 同窓生探訪

泉ヶ丘通信

Club Activity Report 2019

卒業生母校に帰る

第10回泉ヶ丘同窓会総会報告

新幹事大学生キャンパスライフ

異業種交流会レポート

同窓会より

幹事総会報告

2019年度 泉ヶ丘同窓会組織図

運営費の寄付のお願い

アドミッションセンターより

入試のお知らせ

ホストファミリー募集



広報副委員長
池田 謙吾 さん
(普通科6期生)

泉ヶ丘座談会

～泉ヶ丘の卒業生である先生たちの座談会～

撮影：広報委員長 岸本威也(普通科6期生)

「すごいな、かっこいいな」と
思える先生に出会えた！
それが原動力。

副校長
井元 成浩 先生
(普通科6期生)

—今日はお時間作っていただいてありがとうございます。
みなさんには泉ヶ丘校で教員をされていて、なおかつ泉ヶ丘校の
卒業生であるという共通点で集まっていたくださいました。教わった先
生方と教えている現役の生徒を両方知っているみなさんにいろんな
お話が聞けたらと思います。

教師を目指すきっかけと泉ヶ丘校を選んだワケ

—まず、教師になろうと思ったきっかけや出来事があれば教えてい
ただけますか？

今井：実は教師になろうと思ったのは遅かったです。
最初は大学で研究者の道を目指していました。自分自身では教師
になるのは無理だと思っていたのですが、それが変わるきっかけは
4年生のときの泉ヶ丘校での教育実習でした。
実際にやってみると意外と楽しくて、生徒も僕の話の聞いてくれる
んですね。それが嬉しくて。教えることは好きでしたし、これまで勉
強したことをこれからも仕事にできるんだったら教師になりたいと、
その頃から思うようになりました。

—なるほど、そういう経緯があったんですね。
藤下：私は両親が教師だったので、小さい頃から先生になりたい
と思っていました。そんな中で、この学校で「すごいな、かっこい
いな」と思える先生に出会ったことが、泉ヶ丘校で教師になりたい
と思う原動力でした。

—その先生とは、どなたですか？

藤下：友田先生です。
一同：おお～

—藤下先生のように、泉ヶ丘校の先生に憧れて教師になったとい
う方はいらっしゃいますか？

津村：私は完全に飯田先生と永田先生に影響を受けました。お
二人にはほとんど6年間お世話になって、感謝とともに教え方でも
すごいなと感じました。思い入れは強いですね。

道廣：僕は錦織先生ですね。中3で担任を持ってもらいましたし、
数学は中学の3年間見てもらっていました。高校で教科担当が外
れてもマンツーマンで指導してもらったり、教育実習で来た時にも、
教官が錦織先生で教え方まで教えてもらいました(笑)

須藤：僕はずっとこの学校の教員になりたいと思っていました
が、その時は空気がなく、東京の学校で7年間勤めていました。
ある時、泉ヶ丘校に用事があって電話したら採用試験があると聞
いて、戻ってくるようになりました。
あのときに電話していなければまだ東京にいたでしょうから、縁を
感じましたね。

—ところで、採用試験にはどんなものがあるんですか？

藤下：まず、紙の試験ですね。

辻：それから実際に授業をします。

—先生に見られながら授業するんですよね。見られて焦る先生は
いましたか？

辻：基本、誰に見られても焦りますよね(笑)

—片山先生は保健室の先生ですが、他の先生とは違ったアプロ
チだったんですか？

片山：そうなんです。私の場合は教育実習には一回も行ったこと
がないんです。看護師と保健師の資格を取った後で養護教諭の免
許を取得しました。実習を全く踏まずに学校に来ましたので、一年
目はホントに訳もわからずにいました。とはいえ、ぶっつけ本番の
場所が母校でしたので、その点はありがたかったですね。

恩師との関係 同僚として、卒業生として

—お聞きしたいのですが、生徒として教わっていた頃と、一緒に仕
事するようになった今とで印象が変わった先生っていますか？

私たちの世代(1ヶ夕卒期)の時代では松下先生が断トツで怖かつ
たのですが、卒業してからお会いすると信じられないほど穏やかに
なられていたことにびっくりしたものですから。

須藤：僕たちの時代でも怖かったのは松下先生でした。勤め始
めた頃はもう生徒にも優しくかったですね。

今井：津村先生とも意見が一致したんですけど、僕らは楠瀬先生
です。学生時代は怖かったのですが、一緒に働くようになってからは
全然違いましたね。

藤下：僕も同感です。担任持ってもらっていたんですが、優しかつ
た印象が強いですね。

道廣：僕は田尾先生ですね。当時、補習があったんですが、先
生が来るまでに必ず着席しておかなければいけなかったので、田
尾先生専門の偵察部隊がいました(笑)

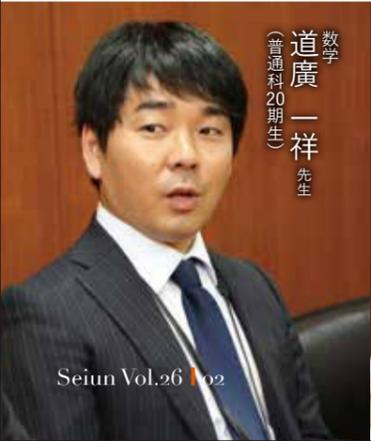
—さて、実際に勤め始めたら、恩師だった先生方が同僚になるわ
けですよね。その点での戸惑いなどはありましたか？

須藤：僕は他校である程度の経験を積んでこの学校に来ました
が、やはりここでは生徒の気持ちに戻るんですね。元々国際科だつ
たゾーンにもしばらく行けませんでした(笑)

辻：僕は父がここで働いていた(注：辻 陽一先生)ので、昔から
先生方との交流がありました。
学校に戻ってからも違和感というのはなかったですね。話しやすい
先生は多いと思います。

今井：生徒だったからかどうかはわかりませんが、いろいろな先生
に声をかけてもらって僕はやりやすかったです。学生時代よりも先
生方との距離は縮まりましたね。

藤下：当時の担任だった先生と話すのは今でもちょっと緊張しま
すね。なんだか弱みを握られてそうで(笑)





教師として見る泉ヶ丘校

ー現在の泉ヶ丘校の生徒にはどんな印象をお持ちですか？

辻：僕の在学中は先生や大人に対する反発心みたいなものがありました。今の生徒はそんなことはなく、学校が好きだし、楽しんで過ごしているように見えますね。共学になったからなのかどうかはわかりませんが。

片山：その頃の自分たちと比べると、今の女の子は覇気があるし、物怖じせずにハキハキと発言しているイメージがありますね。

ー保護者の方についてはいかがですか？

辻：学校に対する期待は高まっているように感じます。

内藤：他の学校との差別化という点で「泉ヶ丘ならここまでやってくれるだろう」という期待はあるのかなと思います。各学校それぞれの情報は今の世の中、色んな所で飛び交っていますね。

片山：保護者の方が卒業生というパターンも少しずつ増えてきましたね。ご自身が過ごされてよくわかっているからこそ、期待も込めてお子さんを通わせているんだろうし、先生に相談しやすいというもあるのかなと思います。

ー保護者がOBなら「おっ」と思いますか？

須藤：保護者がOBかどうかを意識したことはないですが、そうだとわかるとやはり親近感は湧きますね。



各世代、それぞれの思い出

ー先ほど共学の話がありましたが、みなさん共学と併学、世代によってまちまちですね。それぞれ印象に残る思い出があれば教えてください。

片山：国際科の思い出としては、男子としゃべってる女の子はきっと付き合ってると思っていましたね(笑) 普通科とクラスは別々でしたが、それが独特の雰囲気を作っていましたね。

辻：僕たちの学年が男女別クラスの最終学年で、ひとつ下の道廣先生の学年から共学になったんですけど、それを見た僕たちはキレてましたね(笑)

道廣：僕らは「男子クラスいいな〜」って思ってたけど。

辻：それはとんだ思い違いですね(笑)

そういえば、入学直後のオリエンテーションで一度だけ、国際科との交流会があったんですよ。

体育館で男女5〜6人ずつのグループになってしゃべって。まるで合コンのようでしたが、今思うと、あれは来たる共学に備えてのガス抜きだったんだなと思いますね。

内藤：実家が高石なんですけど、学校まで自転車で50分かけて通っていました。

ママチャリだったんですけど、ボロボロになるんで半年に一度買い替えてました。

OBとして、教員として、同窓会とのつながり

ー今回、こうやお集まりいただきましたが、帝泉OBの先生だけで集まったことってありますか？

一同：初めてですね。

ーこれを機会に新しい輪ができれば私たちもとてもうれしいです。

内藤：今回来られていない先生もいますから、次回は全員で集まりたいですね。また、僕たちが教わったベテランの先生方ともこうした機会が持てたらもっと話が弾みそうですね。

ーこれからの同窓会に望むことはありますか？

辻：卒業してからのクラブ単位でのつながりがまだまだ少ないと感じることがありますので、OB会や飲み会などがもっとできればと思います。

ー確かにそうですね。クラブによってはまだOB会がないところもあるでしょうし、これからまた新しいつながりを広げていきかけを増やしていきたいですね。そのためには、先生方や在校生のことをよく知っていて、なおかつ同窓生でもあるみなさんの存在ははとて頼りになります。同窓会活動にも是非力を貸してくださいね。今日はどうもありがとうございました！



卒業生の皆さんへ

卒業生の皆さんこんにちは。お元気にお過ごしでしょうか。

今年の冬が来ると、私は満64歳になります。昭和56年4月に住吉の帝塚山学院中学校(女子部)に就職をし、泉ヶ丘校が開校された昭和58年(1983)4月に、住吉の中学・高校にお勤めだった先生方とともに、泉ヶ丘校に移籍しました。以来、学院には合計で37年間お世話になってきました。泉ヶ丘校では35年間です。人生の大半を、泉ヶ丘校とともに過ごしてきました。今の私があるのも泉ヶ丘校のお陰であり、帝塚山学院には深く感謝しています。昨年の3月末に定年退職し、現在は再雇用の職員として、生徒募集の業務に携わっています。

この仕事をしていると、中学、高校への進学適齢期を迎えたお子さんを持つ、本校の卒業生の方々と、説明会などの席でよくお会いします。お子様の進学先の一つとして、母校である泉ヶ丘校を考えていただいていることは、我々にとっては喜ばしいことです。いい学校だったという思いがあるからこそ、ご自分のお子様にも、とお考えになるのだと思います。卒業生をはじめとして、多くの

方々の期待にお応えするためにも、本校が素晴らしい学校としますます発展していくことを切に願います。

さて、私事になりますが、自分自身の中学高校時代から定年退職を終えた現在までを振り返って思うのは、極めて陳腐な言い方になりますが、人生はあっという間だ、ということです。「時間」は誰に対しても平等に訪れ、そして容赦なく過ぎてゆきます。その過ぎゆく時間と、これからどのように向き合っていけばよいのか。老齢を迎えた今の私の課題です。後に悔いを残さないような過ごし方をしたい。明るく、楽しく、前向きに生きていきたい。最近はそのように、よく思います。

19歳の時に郷里を離れてから、今に至ります。昨年に機会があって、長らく音信の途絶えていた郷里の中学高校の同窓生との交友が、40数年ぶりに復活しました。再会を喜ぶ自分が意外です。今は、旧友たちと過ごす時間がとても愉快です。帰省する楽しみの一つになりました。

皆さんも機会を得て、帝塚山学院泉ヶ丘校の同窓生と懐かしい時間を持ってみてはいかがでしょうか。新しい発見と楽しみがあるかもしれませんよ。



森 俊樹 先生
(国語)

message



「大丈夫!! 先生がついてる!!」

卒業生の皆さん、お元気ですか。と言っても私は永く公立高校で教鞭をとり、帝塚山学院泉ヶ丘校にお世話になりまだ4年目です。ですから、私が直接かかわった卒業生の皆さんは、長く勤務されている先生方と比べれば本当に僅かな方々になってしまいます。

公立高校で36年間勤めました。遷居を目前にして私学に移り、学校の体制や勤務システム、カリキュラムの展開などで、それらの違いに戸惑いを感じたこともありましたが、私が教員人生で一貫してぶれずに持ち続けたことは生徒とのかかわりです。それは公立校、私立校は関係なく一人の人間同士として、お互いに尊重しあえるものでした。

新しい生徒を迎えるごとに教員との年齢差は確実に広がってきます。ものの見方、考え方、価値観も違ってきます。それは認めざるを得ない

歴然とした事実です。そんな状況の中で私は「お兄ちゃん先生」から「オヤジ先生」、「おじいちゃん先生」となっても、生徒に寄り添うことを怠ってはならないと決めてきました。それを貫くことが教員人生の締めくくりであると信じています。

「大丈夫!! 先生がついてる!!」 何の根拠もないけれど、そう言いながら生徒とともに過ごし、生徒から多くの元気をもらってきました。それはここ泉ヶ丘校でもかわりません。

皆さんには、泉ヶ丘校という素晴らしい環境の中で培い、得てきたものがあります。それはほかの何からも得ることのできない大切な宝物です。これから先、そのかけがえのない宝物をもってそれぞれの分野で活躍することを願っています。

「大丈夫!! 先生がついてる!!」



阪口 達哉 先生
(英語)

輝く★人

★01



山本 静香 (国際科6期生)

ECC国際外語専門学校 英語課スタッフ
米国CTI認定プロフェッショナルコーチCPC
CRRグローバル認定システムコーチORSCC

『花より単語!!!!』

恩師の岩崎嘉蔵先生からスピーカー越しに口酸っぱく言われ続けたことが、昨日のこのように蘇ってきます。

在学中は、YFUのプログラムでアメリカに1年間滞在し、人生を変えるような体験ができたこと、また、素晴らしい恩師や仲間に出会えたことが一番の思い出です。

留学前にECCの英会話スクールに通ったことがきっかけで、「教育」にとっても興味を持ちました。「教育の威力」を感じ、今度は自分もこんな場を提供したいと強く思い、念願の株式会社ECCに入社、ECC国際外語専門学校に配属となりました。現在は、スタッフとして、主に英語科目担当講師の総括をしています。教育とは本当に素晴らしいもので、自信のない学生を自信に満ち溢れた姿に変える力があります。

そんな中、「個人が本当に願っているものは何か」という「人の本質」に興味を沸き、仕事の傍ら、コーチングの資格を取得しました。

私自身、6年半の不妊治療、1回の流産、8回の体外受精を経て、40歳で娘を授かりました。高齢出産だったため、72時間の陣痛後の帝王切開となりましたが、ちょうど二つ目のコーチング資格の勉強をしている最中だったため、出産翌日も病室からオンライン授業に出席したりしながら、産休中に無事二つ目の資格も取得することができました。

私のメンターでもある職場の先輩が、カウンセラーの専門知識を身に付けて復帰されたように、私も「手ぶら」では復帰したくないという強い思いがありました。

教育は人生を変える大きな手段だと思います。私の人生が変わった母校に心から感謝しております。



モンゴルのゴビ砂漠70kmを徒歩で横断した際の写真
(蜃気楼(遠くに見える建物)と遊牧民のお宅での晩御飯作り)

★02



大谷内 圭 (普通科12期生)

学校法人山口学園
ECC国際外語専門学校 副校長

『変化を恐れない』

平成9年に卒業後、22年の月日が流れました。

同窓生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

寄稿させていただくにあたり、当時の学校生活を思い起こしてみると、陸上部での部活動に明け暮っていたなあ、バンド活動にも精を出したなあ、など学生の本分である勉強以外の記憶の方が甦ります。

そんな私が、現在は教育業界で仕事をしております。

ECC国際外語専門学校は語学と希望業界の専門知識を身に付け、国際派の進路実現することがポリシーの学校です。現在、1300人を超える学生が大阪の中崎町で学んでおります。また40か国の留学生が共に学ぶ、グローバル教育の場でもあります。

大学卒業後、約10年間、学生募集のセクションを経験し、その後数年の教務課経験を経て、昨年度より副校長として、日々走り回っております。学生の貴重な2年間という時間をお預かりし、価値を感じてもらうことは、大変難しく責任があります。当時の先生方のご苦勞を痛感しております。

一方で学生たちの成果と共に喜ぶことができることは教育ならではのやりがいだとも感じます。

近年、高等教育機関は指導要領の刷新や入試改革をはじめ、具体的に目まぐるしく変化しています。未だに付き合いのある泉ヶ丘の同窓生たちは、フィールドは違うものの、変化を受け入れ、輝いている方々が多く、話をしていると尊敬の念と負けられないという気持ちを持たせてくれます。

母校のように選ばれ続ける価値を創造するために、変化を恐れず取り組んでいきたいと思っております。



★03



池田 靖章 (普通科18期生)

香里ヌヴェール学院
中学校高等学校 校長

『なせば成る!』

皆さん、はじめましてこんにちは。

私は今、学校法人聖母女学院・香里ヌヴェール学院中学校高等学校で学校長をしております。聞くところによると、34歳の校長は日本の一条校で最年少だそうです。大学院を卒業後、私学高校教師を10年経験し、管理職を経ずに校長に就任しました。現場主義をモットーに掲げ、「当たり前」を疑いながら、改革の最前線に身を置き、日々日本の教育を変えるための挑戦を行なっています。

なぜ、私が“教師”を目指したのか。そのすべてが帝塚山学院泉ヶ丘中高6年間にあります。私にとってその6年間はかけがえのない時間であり、人生を大きく変えた時間です。その大きな成功体験は、現任校においてもどんな教育をすべきなのかということを常に示してくれています。学校の存在は「挑戦を応援してくれるかどうか」であって偏差値が高いとか、授業が素晴らしいとか、校舎が綺麗とかはあまり重要ではないのだと思っています。(もちろん両方兼ね備えている母校は素晴らしいです。)

本質は、生徒とどう寄り添ってくれるか、そのたわいも無い夢や希望を親身になって応援してくれるかだと思います。当時の私には、そんな話をたくさんすることができる先生方がいました。恥ずかしながら、成績はいつも最下位でしたが、たくさんの私の良いところ探しをしてくださいました。

今、教育界は大きな変革を迫られています。AI時代に入り、単なる知識だけでは通用しない世の中となり、今までの学歴社会から多様な価値観が広がる社会へと大きく変わりつつあります。そんな社会に送り出す我々は「どんな子どもを育成するのか」。このテーマは日本のすべての学校が本気で向き合えないといけない問題です。ただ、社会が大きく変わろうとも本質的なモノは、創立した時も私が在籍した時代と同じだと思います。

「思いやりこそ力」

最後に、母校の繁栄と同級生普通科18期・国際科17期をはじめ、愛する同窓生のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



「子どもの運動会」



「校長が行うキャリア教育授業」

★04



古郷 康介 (普通科20期生)

大阪城トライアスロン大会競技担当次長
立命館大学体育会トライアスロン部監督
International Triathlon Union Level1
Technical Official

『観戦にお越しく下さい!』

皆さんはトライアスロンというスポーツを観たことがありますか? 鉄人レースのイメージが強いスポーツですが、国内でも多くレースが開催されています。ただ、観たことがある方は少ないと思います。そんなスポーツと大学の時に出会い、Technical Officialという他のスポーツという審判員と大学の監督を務めております。また、大阪城のお濠を泳ぐトライアスロン大会の事務局を立ち上げトライアスロン関連の事ばかりをしています。

2020年は五輪・パラリンピックが東京で開催されます。トライアスロンは混合リレーという新種目が五輪に加わります。私は五輪の国際審判員として日本人10人の中に最年少で選出されています。世界38人の中でもおそらく東京五輪では世界最年少ですね。高校生時代を知る先生方や同級生は「英語に拒否反応しなかった古郷が国際審判員?」と疑問を持たれるかもしれません。実際大学でも英語から逃げ倒していました。社会人になってから本腰を入れて勉強しながら国際レースに関わってきましたが、口をついて出る英語の文法がおかしいな、と気づくたびに先生方には申し訳ないなと思ってしまう。

大阪城大会も五輪・パラも世界で初めての試みがある大会です。そうした大会に幸運にも関わることができております。同窓生の皆さん、是非まずは観戦にお越しください! 迫力あるレースを見て、選手で出たい! 大会に関わりたい! という方が増えると良いなと思います。



同窓会 Report

30期生6年コース同窓会

30期生 安坂 雄大

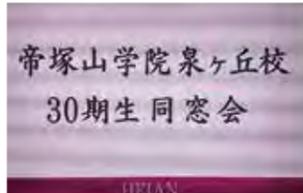
3月17日(日)、大阪市内のANAクラウンプラザホテル大阪にて30期生6年コースの同窓会を開催いたしました。

当日は私達の学年主任であり、現在は副校長を務められておられる藪本先生をはじめ担任、副担任をもっていた先生方、また、現在は泉ヶ丘校を退職された高瀬先生、若菜先生、三村先生にもお越しいただきました。

卒業生は約50名の参加となりました。最初に藪本先生からご挨拶をいただき、その後、出席されている先生方から一言ずつご挨拶を頂戴いたしました。

参加した卒業生の皆さんも恩師の言葉を懐かしい様子で聞いておりました。

この4月から社会人となり、新しい生活が始まる卒業生もいますが、今後も同窓会等を通じて、交流が深まることを祈るばかりです。



32期生 成人式同窓会

32期生 田和 直樹

平成31年(2019)1月14日、スイスホテル南海大阪にて普通科・国際科32期生で同窓会を開催しました。

中高過ごした仲間と先生、そして保護者の方にも参加して頂いてのパーティとなりました。

クラスごとに集合写真を撮り、開会セレモニーで先生方へ挨拶を頂戴し、授業中によく聞いた懐かしい言葉を聞けてとてもほっこりしました。木内先生に乾杯の音頭をとって頂き、パーティーの開始です。

帝泉のアットホームな雰囲気のもと、おいしいご飯を食べながら中高での懐かしい思い出話で盛り上がり、ビンゴ大会を開催し時間はあっという間に過ぎ、閉会式となりました。

また、サプライズで32期生の父である木内先生の還暦のお祝いをしました。木内先生には第2の人生を木内先生らしく元気のびのびと楽しんで頂きたいです!

また次回、みなさんとお会いできるのを楽しみにしています!!



住所変更された方・不明者に関する情報は、帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局までご連絡ください。また、ホームページの住所変更届けボタンをクリックし、フォームに入力するだけで簡単に手続きができます。よろしくお願いたします。

木内先生還暦祝い

19期生 朴 是英

2019年7月6日に木内先生の還暦祝いを、心斎橋はNOVEL SHINSAIBASHIにて行いました。

3期生から19期生の柔道部総勢22名が集まり恩師の還暦を祝福しました。

歴代キャプテンのエピソードトークは大いに場を盛り上げ、木内先生の背中を見て教師を目指したという、あるOBのサプライズスピーチは感動を誘いました。

また、木内先生にご用意したプレゼントは3期生の細川博先輩の細川毛織にご協力頂いた、世界に1つだけのストールで、先生には大変喜んでいただけました。

恩師を囲み世代を超えた絆を持ってた良い会となりました。

次回は12月に忘年会を予定しております。

今回参加出来なかった方々にも奮ってご参加頂ければと思います。



2018年度 帝塚山同窓会 東京同窓会総会のご報告

2018年10月14日に、前年同様、都市センターホテルにて開催され、野村正朗理事長はじめご来賓の方々や恩師の先生方(大月厚生先生、谷村昇紀先生)を大阪よりお招きし、合計95名の方々が参加されました。

桶谷東京同窓会会長のお言葉で始まり、野村理事長、山田同窓会連絡協議会代表のご挨拶、今井帝塚山同窓会会長の乾杯、恩師の先生方からはそれぞれ帝塚山に馳せる思いを三者三様にお話しくださしました。

今年はゲストとして、58回生世話役と同期で、現在マスメディア等でも活躍の東京大学理事で弁護士の境田正樹さんをお迎えし、日本プロ

バスケットボールBリーグの立ち上げ時の苦労話などをお話しいただきました。

最後に女声コーラスMADAME DOから、恒例の泉ヶ丘讃歌を含む校歌合唱で4曲が熱唱され、幕を閉じました。

今回は泉ヶ丘同窓生からの出席は私だけでしたが、一度勇気を出してのぞいてみられてはいかがでしょうか。帝塚山学院の華やかさを感じることができる同窓会だと思えます。

普通科1期生 松本 隆司

2019年度 帝塚山学院 東京同窓会 総会のご案内

2019年 11/17日 11:30 ~ 14:00(開場 11:00) 都市センターホテル コスモスホール

東京都千代田区平河町2-4-1 TEL 03-3265-8211 <http://www.rihga.co.jp/toshicenter/index.html>

■参加申し込み方法

①お名前(旧姓)、②会員番号(または卒業年)、③連絡先の3点を明記の上、下記、2019年度東京同窓会総会 連絡先メールアドレスまでお送りください。尚、メール送信が難しい方は、どうぞ遠慮なく、直接世話役までご連絡ください。

連絡先メールアドレス

✉ akanegumo2019@gmail.com

本年度(第59回)世話役

保(和中) 由江	090-2963-1010
一木(宮崎) 弘子	080-1142-5050
伊藤(江川) 和子	080-5016-6500
佐藤(平井) 真理	090-2904-4392
吉間(田口) 順子	090-4039-0863

バスケット部OB会ホームカミングデー開催

普通科4期生 山本 淳史

開校当初から活動続けるバスケットボール部のOB会を設立しようと、2019年4月7日(日)にホームカミングデーを開催しました。当日は初代顧問の川田哲二先生と藪本青吾先生にご参加頂き、1期生から26期生のOB40名以上が、母校のアリーナに集いました。世代を超えたメンバーで、久しぶりのバスケットを楽しみ、バスケットの後は場所を食堂に変えて、OB会設立の趣旨や目的について話し合いました。

またその後は学校を離れ、夜遅くまで懇親会で盛り上がりました。今年の秋には、設立記念総会を開催したいと計画しています。バスケットOBの方、同級生を誘って、是非ご参加ください。なお詳細については、同窓会事務局までお問合せください。



同窓生探訪

泉ヶ丘校の卒業生で現在、気軽に訪ねられるお仕事をしている方を誌面でご紹介することで、職業を通じて先輩・後輩の枠も超えた交流ができればいいなと思います、取材しています。

取材:大嶋菜穂子(国際科3期生)
相澤 輝代(国際科4期生)
藤元沙弥香(33期生)

御崎屋酒店

朝比奈 高德
(普通科2期生)



普通科2期生、朝比奈 高德さん経営の御崎屋酒店を訪ねました。

1968年大阪市住吉区(現住之江区)にお父様が開店。元々お酒の販売のみでしたが、当時建設中だった阪神高速道路の工事現場勤務の方々の「一杯飲ませて欲しい!」の声に応じて立ち飲みコーナーを始めました。

当初、販売と立ち飲みスペースを分けていませんでしたが、阪神大震災の1年後お父様を説得し、販売と立ち飲みスペースを分けたスタイルに変更。お父様が立ち飲みカウンター、朝比奈さんは販売と配達を担当です。12,3年前お父様が体調を崩されたのをきっかけに、朝比奈さんが立ち飲みカウンターに入るようになりました。お客様は全員年上のおじさん。近所の方が多く面識はあったものの、接客となかなか緊張もしたそうです。最近は常連客がほとんどですが、インスタグラム等SNSの影響もあり新規のお客様も来店されるそうです。そんな方々からは「隠れ家的ですね!」との声も。朝比奈さん自身は隠れ家感を持っていないそうですが、お店のロケーションはそう言われるのも納得ない感じの路地なのです。

聞き上手な朝比奈さん、今回の取材でも豊富な話題で話が広がりが長居してしまいました。きっとお客様も居心地がいいだろうなと感じました。以前はお店に立つ時は飲まなかったそうですが、最近は少しお付き合いすることもあるそうです。但し、マイナスな感情でお酒は飲まないがポリシーだとか。そんな気持ちで飲むとお酒に失礼だからという考えからです。「楽しいお酒を楽しく飲みたい!」「淋しいお酒は好きじゃない!」素敵です。

生ビールはハートランドをピルスナーグラス(420ml)でサービス。苦みが少なく飲みやすい味わいのハートランドビールはスタイリッシュなボトルビールというイメージ。御崎屋酒店で飲めるギャップ(!?)もいいです。閉店後、毎日ビールサーバーを洗浄、オーダーが入って初めて稼働させます。毎日の洗浄は美味しいビールを提供するための朝比奈さんのこだわりです。ここにもお酒に失礼のないようにという思いがうかがえます。ご友人作成の壁のポスターには「御崎屋限定オリジナル耐ハイあり!」の文字。オリジナル耐ハイは超ドライな味わいの凧(NAGI)ときれいなブルーでパイナップルのさっぱりした甘さの潮騒(SHIOSAI)の2種類です。食べ物はチーズ等おつまみ、缶詰各種(コーンビーフ、オイルサーディン)、みさきやのかんとだき!味が浸みっていて美味しいです。お酒が飲めない人にはコーヒーも出してくれます。

元々立ち飲みスタイルの御崎屋さん、今は高齢者対策で椅子があります。カウンターの高さは立ち飲み仕様のため椅子に座ると少し高くなりますが、座れるのはいいですね。ちょっと寄りたい居心地のよい隠れ家的な立ち飲み屋さん、御崎屋酒店オススメです!

御崎屋酒店

〒559-0013
大阪府大阪市住之江区
御崎5丁目18-21
TEL 06 (6681) 8934

<http://www.misakiya.org/>



CURRYON

萬津 綾
(国際科16期生)



奈良県明日香村にある奈良県立万葉文化館の館内レストランにTHE CURRYON(カリオン)があります。このお店は3月9日にオープンしたばかり。国際科16期、萬津 綾さんがご家族で経営しているお店です。お店のコンセプトは「カレーと地産地消」。

萬津さんにとってカレーは祖母との思い出の味だそうで、お客様にとっても過去に行った旅行の楽しい思い出をこのカレーを食べると思い出す、そんな過去の思い出に寄り添える味を目指しているそうです。

もう1つのコンセプトの地産地消。カレーにたくさん使われている野菜は明日香村で朝採れたものや国産のもの使っているそうで、仕入れも近くの道の駅で行うそうです。そうすることで、地域の方とコミュニケーションが取ることができ、色々な料理のヒントに繋がることもあるそうです。

また、盛り付けの方法も工夫されていて、盛り付けで季節を感じられるように見た目はとてもカラフルでつつい写真を撮りたくなっちゃいます。盛り付けられる野菜は来度に違うので毎回楽しめます。

萬津さんは、帝塚山学院泉ヶ丘高校在学中、将来は芸能関係の道に進みたいと思っていたそうで、あまり学校生活に対して熱心では無かったそうです。しかし、その時に将来のことを親身に考えてくれる友達や先生方がいたおかげで学生生活を楽しくとおっしゃっていました。

また、ユネスコ部に所属していてホスピタリティや人の気持ちを考えることを学びました。大人になって帝塚山学院泉ヶ丘高校に在学していた時のことを思い出した時、周りの人に恵まれていたなと感じ、その人との繋がりが人生の財産だと思うそうです。

カリオンをオープンする際にも人との繋がりを感じたそうで、カリオンはチャレンジショップという約2年間お試しでお店を出してみるという企画に参加していました。その時、地域の方達との縦横のつながりができたおかげでカリオンを出店した時にもたくさん助けていただいたそうです。

このカリオンがある万葉文化館の名誉館長の中西進さんが新元号の令和を考案した人ではないかと話題になっているため、その効果で最近お客さんが増えたそうです。

またインスタグラムは毎日更新していてSNSでの口コミで来店される方も多くいます。

地元の方に多く来ていただいているそうで、この明日香村が好きだから、明日香村を尊敬する気持ちでぶれないようにこれからも頑張っていくそうです。

明日香村を観光された際はぜひカリオンに立ち寄りカレーを食べてくださいね!

CURRYON

〒634-0103
奈良県高市郡明日香村飛鳥10(奈良県立万葉文化館内)
TEL 0744 (54) 1850

http://www.manyo.jp/pavilion/first_floor.html



Club Activity Report 2019

部活動報告



女子バレーボール部

2年2組 野口 愛未

高校女子バレーボール部は、総員9名という少人数で活動しています。今年度のチーム目標は「自分達の実力を最大限に発揮する」と掲げ、日々活動に励んでいます。スポーツに限らず、日々の練習で出来る事が本番では出来なくなってしまうという事は、多くの人に経験としてあると思います。そこで私達はそこに重点を置き、目標達成への道を探っています。指導者がいないので、部員全員が自ら考え行動する積極性を持ち、メンバー同士のコミュニケーションも大切にしています。

また、先輩方にも恵まれ、練習を手伝いに来て頂いて、さらにはアドバイス下さり、私達のやる気もアップし、感謝の気持ちでいっぱいです。バレーボールを通じて何事にも一人では出来ないということ、周りからの支えがあってこそ出来るということを感じています。まだまだ実力不足で大きな成果を上げることは出来ませんが、これからも努力を惜みず、必死に練習して良い報告を届けることができると思っています。私達の常に明るい雰囲気、強いチームワークを生かして、もちろんバレーボールを楽しむことを忘れずに頑張っていきたいと思っています。



ボランティア部

顧問 清水 由紀

本校のボランティア部は、2005年に男子生徒11名で活動を開始しました。そのきっかけは、2002年に帝塚山学院と「Save the Children」が協力して行った「アフガニスタンの子供たちに学校を」の活動に加わったことでした。中学生徒会を中心にバザーなどの募金活動を行ったところ、実に積極的に生き生きと主体的に取り組む生徒達の姿を目の当たりにし、このような機会をどんどん作っていくべきと考え、創部しました。その後、毎年入部希望者が後を絶たず、今年度は中学生2名、高校生5名で活動しています。

現在の活動内容は、定期的な校外清掃活動、春秋の年2回全国的規模で行われる「あしなが学生募金」活動、「夏のボランティアin堺」で堺市内の福祉施設でのボランティア活動、エリーニ・ユネスコ協会が行っている「エコキャップ回収活動」など多岐に渡りますが、その他にも約10年間、本校国際科6期生の田村亜紀子さん(旧姓 谷さん)が患児家

族として副理事長をされている神戸「チャイルドケモハウス」に泉ヶ丘祭でのバザーの収益を全額寄付しました。ここは、病気で長期入院が必要な子供たちが、自宅のような環境で家族と共に治療が続けられる施設で、少しでもお役に立てばという思いから始めた活動です。

また、昨年度末から学院小学校TASC活動のお手伝いにも参加しています。これは、学院児童の放課後学習活動で、そろばん、体育活動、書道などの活動と一緒に参加し、交流を深めるものです。児童の皆さんはすぐに受け入れて下さり、私たちの訪問を心待ちにしてくれているようです。

このように、一つ一つの活動は小さなものばかりですが、それぞれの活動がやりがいのあるものであると感じ、今後もその喜びを生徒達と分かち合いながら活動を続けていきます。同窓生の皆様、今後ともボランティア部をよろしくお願ひします。



泉ヶ丘祭

2019年
9/14
Sat
10:00~14:00

〔場所〕
B棟地下1F
同窓会室向い
グループ学習教室6&7

学生企画の スタンプラリー

謎解きしながら学校中を探検してスタンプを集めよう! ゴールしたらチエキを撮ったり景品がもらえます! ※景品には限りがあります。



IZUMIGAOKA BEAR 泉ヶ丘オリジナル

上品かつ、かわいらしい
触り心地バツグンの貴重な人形を
限定販売! 売り切れ御免!

泉ヶ丘ベアー

100set 限定 2つセットで 3,800円(税込み)

同窓会 Cafe START 10:00~ LO 14:00

同窓会カフェでOB向け入試相談会、開催します!

今年の泉ヶ丘祭では、同窓会カフェ内で特設ブースを設け、中学、高校受験を控えているお子様がいらっしゃる卒業生の保護者様を対象に入試相談会を開催いたします。

泉ヶ丘校の今を知っていただき、疑問にお答えすることで、進学先として泉ヶ丘校を積極的に考えていただけたような相談会にしたいと考えております。

今春、開校以来初めて国公立大学合格者が100名を超え、志願者も増加傾向となっており、泉ヶ丘校としては卒業生のお子様には是非入学していただきたいと考えております。一般の入試相談会と異なり、卒業生だけのゆったりとした雰囲気でお話ができます。当日は入試担当副校長でOBの井元成浩先生(普通科6期)がご対応頂きます。是非お気軽にお越しください。



井元 成浩先生

卒業生 母校に 帰る



理科
内藤 雄介 先生
(普通科20期生)

みなさん、こんにちは。普通科20期生の内藤と申します。私は、昨年(2018年4月)にこの泉ヶ丘校に理科の教員として着任しました。

10年前にも非常勤講師として1年この学校でお世話になりました。その後、様々な学校に赴任しいろいろな学校を見てきました。学校が違えば、先生方、生徒の雰囲気も異なり学校の雰囲気、制度、ルールなども全く異なります。それぞれ良いところがあり現場の先生方は「生徒のために」という思いを持っているのは同じであると感じています。

昨年、9年ぶりにこの学校に帰ってくるというのと変わっているような感じを受けました。教室にはプロジェクターがついていたり、2Fの教室前の質問スペースには机・椅子が用意され、教室も増築されていました。また、先生の数も増えて世代交代のように若い先生

が増えたような気がします。

今、泉ヶ丘は改革の途中です。7限目は45分授業でしたが、今年から50分授業になり、校時が変わりました。日本は少子化にあり、私学が生き残るにはその環境・状況にあった教育を提供できなければいけません。文部科学省は様々な改革をしようとしていて、それに伴って私達も試行錯誤を繰り返して、いろいろな教育をしていく必要があります。

これまでの様々な学校での経験を活かして泉ヶ丘校に還元できればと思っています。みなさん、今後の泉ヶ丘校の発展にぜひ、ご注目いただきたいと思います。



会長のご挨拶 ～「つながり」を大切に



帝塚山学院泉ヶ丘同窓会
会長 松本 隆司
(普通科 1期生)

日頃より同窓会活動へのご参加・ご協力、誠に有り難うございます。

2016年11月より会長を務めさせていただいております。1983年の開校と同時に入学しました思い出のある母校に、同窓会会長として関わらせていただいております。大変光栄に感じております。

1991年に発足いたしました泉ヶ丘同窓会は、現在34期生までで会員数が約8,500名にまで発展しております。会員の皆様から頂戴しております同窓会費を大切に使用させていただき、「つながり」をキーワードとして、会員同士が「つながり」を感じられる活動を目指してまいりたいと考えております。

泉ヶ丘同窓会は6つの委員会で構成されており、各委員長のリーダーシップのもと、活動しております。昨年度の最大のイベントは、2年ごとに開催されています、第10回泉ヶ丘同窓会総会でした。同窓生・来賓・恩師あわせて134名の方々にご参加いただき、盛大に開催することができました。この場をお借りしまして御礼を申し上げます。今年度は昨年度の活動をさらにパワーアップして、より良いものにしてまいりたいと考えております。

創立36年を迎えた母校では、数名の同窓生が教鞭を執っておられたり、数多くの同窓生がご自身のお子さまを通わせてくださり、PTAとしても活躍されています。このように、同窓生と母校は、深い「つながり」があります。また、いろいろな場面で活躍されている同窓生の皆様は、同窓会総会や学年同窓会だけでなく、職場や日常生活などで「泉ヶ丘」の「つながり」を発見し、交流されています。

泉ヶ丘同窓会は、各学年の幹事を中心に同級生との「つながり」をお手伝いするとともに、世代の違う同窓生とも「つながり」を深められるような活動を展開しております。また、首都圏在住の同窓生には、東京委員会が中心となって、「つながり」を深めていただけるようにしております。「泉ヶ丘」という「つながり」を発見していただき、皆様で大切にしていきたいと思います。

今後とも、同窓会の活動に積極的にご参加下さいますよう、よろしく御礼申し上げます。

第10回

泉ヶ丘同窓会総会

平成30年(2018年)12月2日、第10回同窓会総会を開催いたしました。記念すべき第10回大会は、同窓生111名、来賓と恩師の先生23名の計134名の方に参加していただき、同窓生の松田吉博さん(普通科7期)が経営される新大阪駅前のニューオーサカホテルでの開催となりました。

総会では、松本会長の開会の挨拶に引き続き、来賓の野村理事長、江口校長からご挨拶をいただき、帝塚山学院の現状、泉ヶ丘校の現状についてそれぞれお話をいただきました。続いて、松本会長より事業報告と各役員・各委員会の紹介がなされ、各委員会の精力的な活動についてご報告されました。

懇親会では、学年や旧知の仲を超えての同窓生の交流が行われ、まるで泉ヶ丘校の教室のような賑わいでした。懇親会の間には、ピアノとチェロ演奏(ピアノ演奏は国際科13期の奥 杏さん)が行われ、同窓生の交流に華を添えていました。次に、今年度卒業したばかりの同窓生(33期谷口暢さん・豊田莉奈さん)が製作した現在の泉ヶ丘校の紹介ビデオが流れ、卒業以降の学校の様子を知らない方の関心を集めていました。恒例の抽選会では、同窓生からご提供いただいた多数の景品の抽選が行われ、大変盛り上がりしました。景品をご提供いただいた皆様には改めてお礼申し上げます。

約2年間の準備期間を経て開催した同窓会総会でしたが、学年を超えて交流できるこうした機会を提供できたことを大変嬉しく思っております。ご臨席いただいた来賓・恩師の先生方、ご参加いただいた同窓生の皆様、ありがとうございます。会場をご提供いただいたニューオーサカホテルのオーナーである松田さんには、そのご高配に深く感謝いたします。また、開催にあたってお力添えいただいた幹事を中心とした同窓生の方々、懇親会での各企画にご協力いただいた皆様のご助力に心からの謝意を表したいと思います。

以上の方々に、総会委員を代表しまして重ねてお礼を申し上げます、本当にありがとうございました。

普通科9期 井上 淳





SYORI TSUBAKIMOTO
椿本勝利
近畿大学 薬学部 医療薬学科
(34期生)

大学に入学して3ヶ月が過ぎ、「毎日楽しい!」という2人の大学生活を紹介!

1 Day Schedule

- 7:30 起床 眠いです。笑
- 9:00 1限目 基本的に毎日1限目からあります!
- 10:30 2限目 化学の授業です。
- 12:15 昼休み 友達と食堂でお昼ご飯を食べます。食堂は美味しいのでおすすめです! 教授の研究についての話を聞きます!
- 13:15 3限目 生物の授業です。
- 15:00 4限目 パソコンを使った授業があります!
- 16:45 5限目 部活をしたり、テスト前だったら友達と22:00まで残って勉強したりします!
- 18:15 放課後 帰宅後は勉強したりゆっくりしたりしています(笑)
- 22:40 帰宅 明日に向けてゆっくり寝ます!
- 26:00 就寝



Voice

部活や友達と遊んだり楽しいことが多いです! 勉強は大変ですが、テストが終わった時の開放感が最高です! 毎日充実した大学生活を送っています!

新幹事大学生

CAMPUS LIFE

キャンパスライフ

SHIORI KISO
木曾栞里 (本人右)

神戸大学 農学部
生命機能科学科 環境生物学コース
(34期生)



1 Day Schedule

- 8:00 1限目が山の上の方のキャンパス(1回生は鶴甲第1キャンパスを主に使います)だと登校するのがとてしんどいです。
- 8:50 1回生の授業では、農学系の専門分野を学ぶことが多いですが、主に言語や化学、経営学などといった一般教養科目を学びます。
- 12:20 みんなで食堂や生協、コンビニでご飯を買ってランチタイムです。色々な子とコミュニケーションを取れる機会なので毎日この時間がとても楽しみです。
- 13:20 3時間目がはじまります。お昼ご飯後の授業はとてしんどいですが、みんなで起こし合いながら頑張っています。
- 18:30 5限目のある時間はいつもこの時間に授業が終わり、それから帰宅したり、サークルに行ったり、アルバイトに行ったり友達と遊んだりしています。
- 19:00 バイトのある日はだいたいこの時間から働き始めます。居酒屋でのバイトは忙しいけれどお客さんとコミュニケーションをとるのがとても楽しいです。居屋でのバイトは忙しいけれどお客さんとコミュニケーションをとるのがとても楽しいです。
- 25:00 バイトが終わってから帰宅して、授業の復習や準備をして明日に備えて寝ます。

Voice

初めての一人暮らし、アルバイトやサークルでの活動など、大学生活では初めてのことがいっぱい毎日とてもワクワクしながら生活しています。中学1年生の時から夢だったUSJでのアルバイトも決まり、本当に嬉しいです! このような素敵な大学生活を送れていることを家族、高校時代の先生方、友人、そして大学で知り合った人々全ての方に感謝しながらこれからの生活を充実したものにしていきたいです。



FRIEND



第3回 異業種交流会レポート

普通科13期 岸本行正

2018年10月6日土曜日、心斎橋の「W Cafe」で第3回の異業種交流会をおこない、35名の同窓生がご参加くださいました。乾杯のごあいさつを松本隆司(普1)さんにいただき、参加者のみなさまには、リラックスした雰囲気でお話を楽しんでいただきました。途中、イベントとして、私と鎌倉司(普18)さんの弁護士2名で、相続に関するミニセミナーをおこない、ご好評をいただきました。ひきつづき、参加者のみなさま全員に、自己紹介をしていただきました。閉会の前には、井上淳(普9)さんより同窓会総会のお知らせと、井上さくら(際5)さんより締めのごあいさつをいただき、盛り上がった雰囲気のまま閉会となりました。ご参加くださった同窓生のみなさま、ありがとうございました。今年も、よりバージョンアップした交流会をおこないたいと考えておりますので、ぜひ、ご参加のほどよろしくお願いたします。



第4回

告知 2019年 11/10日

[会場] 難波~心斎橋近辺を予定
[会費] 会費は会場でのお支払いです
普通科1期生~普10期生(際9期生) 3,000円
普通科11期生(際10期生)~普20期生(際19期) 2,000円
普通科21期生(際20期生)~33期生 1,000円

同窓会事務局 072-293-8680 t.izumi@aurora.ocn.ne.jp

第8回 青雲会 ゴルフコンペ

一昨年に続き、2年連続、台風の為、やむを得ず中止となり、大変ご迷惑をおかけしました。今年も開催することとなりましたのでご興味のある方は、お早めにお申込み下さい。

2019年 9/15日

場所/泉ヶ丘カントリークラブ
費用/コンペ参加費:5,000円(クラブハウスでの会食費と景品代)
(プレー費18,500円キャディー付、昼食は別途各自で精算して下さい)

■お問い合わせは、こちらまで TEL& FAX 072-293-8680 メールアドレス t.izumi@aurora.ocn.ne.jp 只今、エントリー受付中!



*写真は第7回の写真です。

同窓会より

幹事総会報告

副会長 島田 裕典(普通科13期生)

令和元年6月1日(土)午後3時より、泉ヶ丘校の文化ホールにて令和になって初めての幹事総会が行われました。普通科1期生から昨年度の卒業生である34期生まで総勢26名の幹事が集まりました。お忙しい中、江口校長・敷本副校長・井元副校長にもご臨席賜りました。江口校長からは、現在の泉ヶ丘校の状況説明などがあり、皆真剣に耳を傾けておりました。その後、各委員の活動報告、決算と会計監査報告、今年度の事業計画の説明などが行われ承認されました。

幹事総会後の懇親会は、34期の新任幹事の皆様の歓迎会を兼ねて毎年恒例となりました「はや 魚太郎 泉北の郷」で学年の垣根を越えて盛大に行われました。同窓会活動にご興味をお持ちの方がいらっしやいましたら、積極的に申し出ていただければ幸いです。



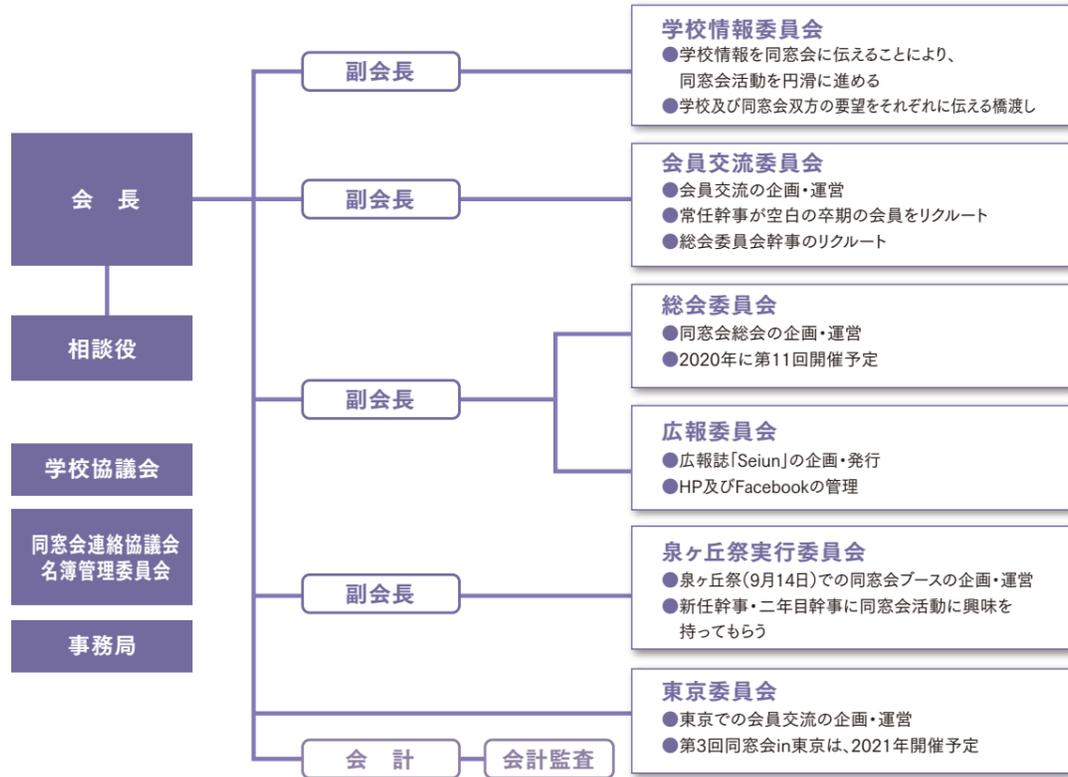
平成30(2018)年度 会計報告

収入の部 (30年度決算)		(単位:円)	
会費収入	6,300,000	寄付金収入	317,972
総会会費収入	618,000	雑収入	220
総会関連費引当金取崩額	500,000	受取利息	655
		合計	7,736,847

支出の部 (30年度決算)		(単位:円)	
贈答費	419,200	会員交流委員会関連費	89,302
通信費	129,314	総会関連費	863,223
帝塚山東京同窓会関連費	10,000	泉ヶ丘東京同窓会	
会誌費	1,231,737	関連費引当金繰入額	200,000
活動費	194,442	東京委員会関連費	49,504
人件費	2,100,528	備品消耗品費	99,537
退職慰労金	1,041,600	会費返金(転退学者)	180,000
退職慰労引当繰入額	25,000	学校協力費引当金繰入額	200,000
広報費	43,723	雑費	8,370
泉ヶ丘祭関連費	52,249	合計	6,937,729

2019年度 泉ヶ丘同窓会 組織図

(2019年6月1日現在)



役員・委員会構成

役職	氏名	卒回
会長	松本 隆司	普1
副会長	細川 博	普3
	田中 尚寛	普5
	井上 さくら	際5
会計	島田 裕典	普13
	得田知栄子	際3
会計監査	内田 仁生	普6
	比叡 一郎	普7
	鎌倉 司	普18
相談役	平井 啓一	普2
	山根 敬介	普4

学校情報委員会			
役職	氏名	卒回	
委員長	山本 淳史	普4	
副委員長	垣内 真里	際6	

会員交流委員会			
役職	氏名	卒回	
委員長	岸本 威也	普13	
副委員長	鎌倉 司	普18	

総会委員会			
役職	氏名	卒回	
委員長	田中 良一	普11	
副委員長	柴田 陽介	普13	

広報委員会			
役職	氏名	卒回	
委員長	岸本 威也	普6	
副委員長	池田 謙吾	普6	

泉ヶ丘祭実行委員会			
役職	氏名	卒回	
委員長	菊月 義哲	普7	
副委員長	村田 綾子	際6	

東京委員会			
役職	氏名	卒回	
委員長	奥村 幸恵	際2	
副委員長	菊之井 秀年	普3	
副委員長	中川 恵介	普7	

学校協議会			
役職	氏名	卒回	
委員	山本 淳史	普4	

連絡協議会名簿管理委員会			
役職	氏名	卒回	
委員長	南 満寿美	際1	

事務局			
役職	氏名	卒回	
	大野 晴子	際1	
	阿部 聖子	際6	

運営費の寄付のお願い

日頃運営費節減に努めているものの、卒業生数が増加していることによる固定経費(会誌費、通信費など)の増加、泉ヶ丘同窓会の活動の活性化による負担増大により、年間の収支が悪化傾向にあります。この状況を少しでも改善するために、皆様から運営費の寄付(2,000円)をお願いしたいと存じます。ご協力いただけるのでございましたら、同封の振替用紙(30期までの卒業生の皆様に同封)で郵便局より泉ヶ丘同窓会宛にご送金をお願いいたします。寄付をいただいた方のお名前を次号の青雲に掲載させていただきます。

卒期	名前
普1	今西 幸仁
普1	角掛 潤一
普1	坂口 健一
普1	佐々木 崇
普1	長濱 正純
普1	西上 孔雄
普1	松本 隆司
普2	榎本 秀好
普2	山下 雅伸
際1	大野 晴子
際1	中井公美子
際1	南 満寿美
際1	依田安希子
普3	青柳 文浩
普3	菊之井 秀年
普3	富内 啓之
普3	細川 博
際2	奥村 幸恵
際2	高原 聖子
普4	光本 浩三

卒期	名前
普4	山本 淳史
普4	芳野 純一
普5	岩崎 洋一
際4	須崎 知香
普6	池田 謙吾
普6	内田 仁生
普6	片上 清勝
普6	岸本 威也
普6	齊藤 博樹
普6	西田 大蔵
普6	吉富 直隆
際5	井上さくら
際5	小灘 康子
際5	仙波 真理
際5	中村智香子
際5	西村香奈枝
際5	芳野 久美子
普7	江富 朋彦
普7	菊月 義哲
普7	中井 紀博

卒期	名前
普7	星野 快
際6	垣内 真里
際6	重倉 朱
際6	津田 承子
際6	土肥奈央子
際6	村田 綾子
普8	有田 勲生
普8	小田島 徹
普8	北野 佳彦
普8	前田 宏樹
際7	浅野 文
際7	池田 昌美
普9	井上 淳
普9	坂本 洋城
普9	長澤 宏和
際8	高地佐知子
際8	増田 準子
普10	稲次 啓介
普10	藤井 隆之
普10	矢吹真一郎

卒期	名前
普11	黒田 貴顕
普11	日野慎二郎
普13	川田 徳宏
普13	島田 裕典
普13	東條 健
普14	石田 元孝
普14	森本 時光
普15	辻 健司朗
普19	奥田 吉隆
普20	白石将太郎
普21	久志本 諒
23期	足立 貴世
23期	北坂 七瀬
24期	赤木 寛明
24期	奥田 紘隆
25期	古田 瑛子
27期	泉森 勇也
29期	森田 成一

多数の方々にご寄付をいただきました。泉ヶ丘同窓会へのご支援、誠にありがとうございます。

みなさんも登録してみませんか?



同窓生の活躍を、お勤め先や経営されている会社名などをWeb上で掲載し、ご紹介しています。新たな交流の場として、つながりや発見、新しいビジネスモデルがここから生まれるかも...!? ホームページを活気あふれるものにしていくためにも、みなさんのご登録を待っています!

掲載期間は10月から翌年9月までです。お申込及び更新期間は毎年7月頃を予定しております。掲載の方には、同窓会協力金(2口以上、1口2,000円)へのご協力をお願いしております。掲載に際しては、簡単な審査がございます。ご掲載のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。掲載内容により、文字数の関係上調整を行う場合がございます。ご了承ください。

ホームページアドレス
<http://www.tezuka-izumi.jp/>
 〒590-0113 堺市南区晴美台4丁2-1 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会事務局
 TEL&FAX.072-293-8680
 E-mail t.izumi@aurora.ocn.ne.jp

計報

普通科6期生 室川 高志 様
 普通科6期生 吉村 昌士 様
 国際科3期生 児山有里子 様
 心よりご冥福をお祈り致します。

編集後記

取材にはつきものの「インタビュー」。青雲を担当するようになってから幾度も経験しましたが、毎回、本番前にはドキドキ・ソワソワします。どんな質問をすればいいか、話が盛り上がるかなど、心配は尽きません。そんな中でも、実際にお会いしてお話しすればたいい記事に終わります。それどころか、事前に得ていた情報から想像するイメージとは全く違うご本人の一面が見られたり、意外なエピソードや話の輪が広がって思わぬ方向に脱線したりと、それぞれのインタビューにはそれぞれの新しい発見があり、終わってみればやって良かったなと、安堵と共に少しの達成感も感じられます。話を伺ったみなさんにも、来てもらって良かったと思ってもらえる取材になるよう、次もドキドキ・ソワソワして臨みたいと思います。



広報委員長 岸本 威也 (普通科6期生)

アドミッションセンター

Admission Center

TezukaYama
Gakuen
Izumigaoka
Dousoukai

Seiun

VOL.26

令和2(2020)年度 入試のお知らせ

[中高6年一貫コース]

特別選抜コース

医進コース

特進コース

[高校3年コース]

S特進コース

特進コース

【中学入試関連行事】

※ 下記の入試関連行事は、本校にて開催します。詳細はHPでご確認ください。

入試関連	入試説明会	プレテスト	プレテスト個別懇談会 教科別アドバイス会
日程	9月28日(土) ・10月5日(土) 14:00~	11月3日(日・祝) 8:20~	11月17日(日)
備考	児童・保護者対象 【事前要予約】	小学6年生対象 【事前要予約】 保護者対象の入 試説明会も同時 開催	プレテスト参加者対象 【事前要予約】

【高校入試関連行事】

※ 下記の入試関連行事は、本校にて開催します。詳細はHPでご確認ください。

入試関連	オープン キャンパス	入試説明会	学校見学会
日程	11月9日(土) 14:00~	11月30日(土) 12月7日(土) 12月14日(土) 14:00~	12月20日(金)
備考	生徒・保護者対象 【事前要予約】	生徒・保護者対象 【事前要予約】	中学3年生・保護者対象 【事前要予約】

▶ 6年コース・3年コース共通の行事として、9月22日(日) 学校説明会・個別相談・体育大会見学があります。【事前要予約】

受験生向け公式アプリが登場。

入試に関する最新情報を手軽に素早くチェックできます

公式アプリをスマートフォンやタブレット端末にダウンロードしておくだけで、入試に関する最新情報を手軽に素早くご覧いただけます。また、入試イベントの申し込みやWeb出願、ルート案内など便利な機能もついています。ぜひ泉ヶ丘校公式アプリをご活用ください!

ダウンロードはこちら
帝塚山学院泉ヶ丘

検索

iOS



Android



中学・高校入試の
Web出願

プッシュ通知で
NEWSを
お届け

現在地からの
ルート案内

入試イベントの
申し込み

学校案内や募集要項などの資料請求、入試に関するお問い合わせは泉ヶ丘校アドミッションセンターまでお願いいたします。連絡先は下記の通りです。

アドミッションセンター TEL.072-293-1416 FAX.072-293-1417 E-mail nyusi@tezuka-i-h.jp

ボランティアとしてホストファミリーになっていただけませんか。

是非ボランティアとして、留学生の受け入れのご協力をお願いしたく存じます。「英語が話せない」「家が広くない」「同世代の子供がいない」といった心配はいりません。留学生を預かることはグローバルを体感するよい機会です。第2のふるさとの父親、母親となり、本当に未永くお付き合いをする関係となる可能性もあります。

本校ではオーストラリアやニュージーランドの姉妹校留学生の受け入れをしようとしています。逆に本校の高校1年生2年生から選抜された生徒が一学期間もしくは1ヶ月留学をします。ホストファミリーをして頂くご家庭が増えれば増えるほど、帝塚山学院泉ヶ丘の生徒達の交換留学の機会が増えて参ります。ご質問がある方はご遠慮なく、国際教養部、村上までご相談ください。

TEL 072-293-1221(代表) 国際教養部 村上

発行年/令和元(2019)年9月
編集・発行 帝塚山学院泉ヶ丘同窓会
制作・印刷 株式会社シンカコミュニケーションズ

〒590-0113 堺市南区晴美台4丁2-1
〒586-0009 河内長野市木戸西町1-5-7

TEL・FAX 072(293)8680
TEL.0721(52)5934

HP: http://www.tezuka-izumi.jp/
HP: http://www.cinca.jp